

第一回日バルト協力対話共同発表

1. 岡本三成外務大臣政務官，ネリス・ゲルマナス・リトアニア外務副大臣，アンドリス・ペルシュ・ラトビア外務次官及びライナー・サクス・エストニア外務次官は，9月27日，リトアニアのビリニウスにおいて第一回日バルト協力対話の枠組みで会談を行った。
2. 各国代表は，2018年1月の安倍総理大臣のバルト三国訪問以降，人的交流，経済協力及び科学技術協力といった幅広い分野における日バルト関係の進展を歓迎した。この点に関し，バルト三国の各代表は，日本貿易振興機構（JETRO）の経済ミッションのバルト三国訪問を，日バルト双方の貿易・投資の機会の増進に向けた重要な一歩として歓迎した。
3. 各国代表は，ライフサイエンス分野に焦点を置いて，将来の日バルト間の協力について議論し，この分野における協力の重要性や潜在性を確認した。
4. 各国代表はまた，朝鮮半島情勢やウクライナ東部での紛争を含む，東アジア及び欧州の地域情勢に関して意見を交換し，共有した。各国代表は，世界の安全保障と繁栄の礎である，海洋分野を含むルールに基づく国際秩序の維持に対するコミットメントを表明した。各国代表はまた，緊張を高め，又は力や威圧により現状を変更するいかなる一方的な行動にも強く反対することを表明し，国際法に基づく紛争の平和的解決の重要性を強調した。
5. 各国代表は，関連する国連安保理決議に従った，北朝鮮の全ての大量破壊兵器及び全ての弾道ミサイルの完全な，検証可能な，かつ，不可逆的な廃棄（CVID）の実現に対するコミットメントを改めて表明した。各国代表は，関連する国連安保理決議の完全な履行へのコミットメントを再確認した。各国代表は，拉致問題の早期解決の重要性を強調した。
6. 各国代表は，日バルト間の協力を更に強化するため，政治的・経済的な相互交流の機会を増やすことの重要性を強調した。各国代表は，2019年に，ラトビアのリガにおいて第二回日バルト協力対話を開催することを決定した。

9月27日 リトアニア，ビリニウスにて